

# Jb2 Ver 2.0 操作入門・使い方

1998.10.22.

日本コンピュータ聖書研究会 能城一郎

## 目次

はじめに

- 1.Ver 1.5との相違(新機能)
- 2.操作習得の近道
- 3.新約聖書ギリシャ語学習の手引き
- 4.著作権について



## はじめに

JB2は、JB1のアドオン・ソフトです。この「使い方」では、JB1の基本操作を習得していることを前提に解説をします。PCの超ビギナーの皆様は、「堀川寛 "使いこなそう! J-ばいぐる1st・聖書の達人" いのことば社 1997年」をお読みになりPCによる聖書研究の基礎、また、操作の基本を学んでから、本プログラムをご利用下さい。

JB2は、「JB1の達人」になられた方々を対象にプログラミングされています。


JB2を使うと短期間に効率の良い「新約聖書ギリシャ語」の実践的な習得が可能です。

JB2は、新約聖書原典を「読む」道具です。

## 1 .Ver1.5との相違(新機能)

Ver1.5は、Win3.1用の16ビットプログラミングでした。Ver2.0は、32ビットプログラミングです。その結果、表示・計算速度が飛躍的に向上されています。

Ver 2.0は、Win98対応のVisual Basic5.0で作成されています。Ver1.0、1.5は、VB4.0の16ビット版で作成されていました。VB5.0を使用することにより、インターネット上で動くJBの開発が可能になり、現在、その開発をしています。Macでも動くJbの世界がもうすぐそこに来ています。

「原書講読」に「InterLinear文書作成」ボタン  が追加されました。

Ver1.5では、ギリシャ語がそのままワープロに貼付きませんでした。Ver 2.0では、貼付くようになっています。

原語の意味を正しく調べるために、「原書講読画面」から「コンコルダンス」が表示され、そのデータをtab区切り形式で、ワープロに貼付けられるようになりました。

「ミニ辞書修正」の速度を向上させました。自分の辞書で聖書原語研究が気軽に出来るようになりました。

Ver1.5までは、CD-ROMから動かせる「縮小インストール」がありました。Ver2.0からこの「縮小インストール」がなくなりました。

容量を小さくするために、「使い方」の表示をビット・マップ方式から、HTML方式に変更しました。

Internet Explorer 4.0以上をご利用下さい。

電子メールによる新約聖書ギリシャ語に関する文書交換をスムーズにするために、Acrobat Reader 3.0Jのインストール・ファイルを添付しました。

Acrobat(R) Reader copyright (c) 1987-1996 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe および Acrobat はアドビシステムズ社の商標です。

ミニ辞典の訳語を部分的に修正、追加いたしました。

参考：『J-ばいぶる - パソコンによる日本語聖書研究の幕開け -』

西南学院大学神学論集 第55巻第1・2 合併号中村和夫教授古稀記念号1998年3月)

参考：中村和夫 『J-ばいぶる - パソコンによる日本語聖書研究の幕開け -』

西南学院大学神学論集 第55巻第1・2 合併号中村和夫教授古稀記念号1998年3月)

## 2. 操作習得の近道

(1)「作業画面」にも表示されていますが、マウス・カーソルを「ボタン」に移動すると画面にその機能が表示されます。以下は、「原書講読画面」の例です。



(2)このように、とにかく、新約聖書原典研究の目的を定めて、JB2を実際に動かすことにより「操作方法」は身につきます。分厚いマニュアル本は、JB2にはついていません。

(3)新約原典研究の初心者の方のために、「3.新約聖書ギリシャ語学習の手引き」があります。初心者の方は、これをお読み頂き実際に操作することにより、「操作方法」と「新約聖書原典研究の方法」が学べます。

### 3. 新約聖書ギリシャ語学習の手引き

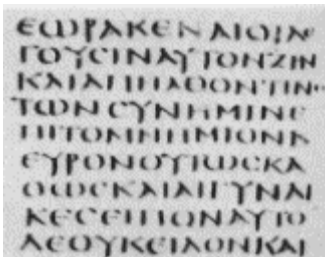
外国語学習では、「文字学習」「単語学習」「文法学習」が基本です。そして、この基礎を土台に「原書を読む」経験をつむことによってその言語をマスターすることが出来ます。本書では、JB2 Ver2.0を利用した効率の良い「新約聖書ギリシャ語学習の方法」を操作をまじえて解説します。

#### 3.1 「文字の学習」方法と発音

| 大文字 | 小文字 | 名称     | 音価   | 大文字 | 小文字 | 名称      | 音価   |
|-----|-----|--------|------|-----|-----|---------|------|
| A   | α   | アルファ   | ア、アー | N   | ν   | ヌー      | ン    |
| B   | β   | ベータ    | ブ    | Ξ   | ξ   | クスィー    | クス   |
| Γ   | γ   | ガンマ    | グ    | Ο   | ο   | オミークロン  | オ    |
| Δ   | δ   | デルタ    | ド    | Π   | π   | ピー      | プ    |
| E   | ε   | エプシーロン | エ    | Ρ   | ρ   | ロー      | ル    |
| Z   | ζ   | ゼータ    | ズ    | Σ   | σ,ς | スィグマ    | ス    |
| H   | η   | エータ    | エー   | Τ   | τ   | タウ      | ト    |
| Θ   | θ   | セータ    | ス    | Υ   | υ   | ユーブシーロン | ゆ、ゆう |
| I   | ι   | イオータ   | イ、イー | Φ   | φ   | フイー     | ふ    |
| K   | κ   | カッパ    | ク    | Χ   | χ   | ギー      | く    |
| Λ   | λ   | ラムダ    | ル    | Ψ   | ψ   | プシー     | プス   |
| M   | μ   | ムー     | ム    | Ω   | ω   | オーメガ    | オー   |

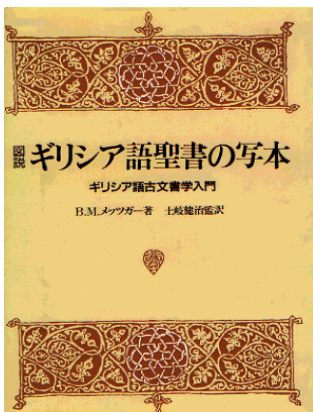
まず最初に、JB2に搭載されている「音写表」を読み、「文字の名称」「音価」を学びます。

新約聖書のギリシャ語本文には、アクセント記号がついています。使徒パウロ達は、このアクセント記号は付けずにギリシャ語を書いていた。有名なシナイ写本(紀元4世紀)は、以下のように大文字のギリシャ語が使われ、スペースもピリオドもカンマもなく聖書のことばが書き写されています。



新約聖書ギリシャ語を学んで行くとその興味は自然と、「本文批評学」に行き着くわけですが、その方面に興味があれば、以下の「図説 ギリシャ語聖書の写本」教文館を、まず、最初に読むことをおすすめします。

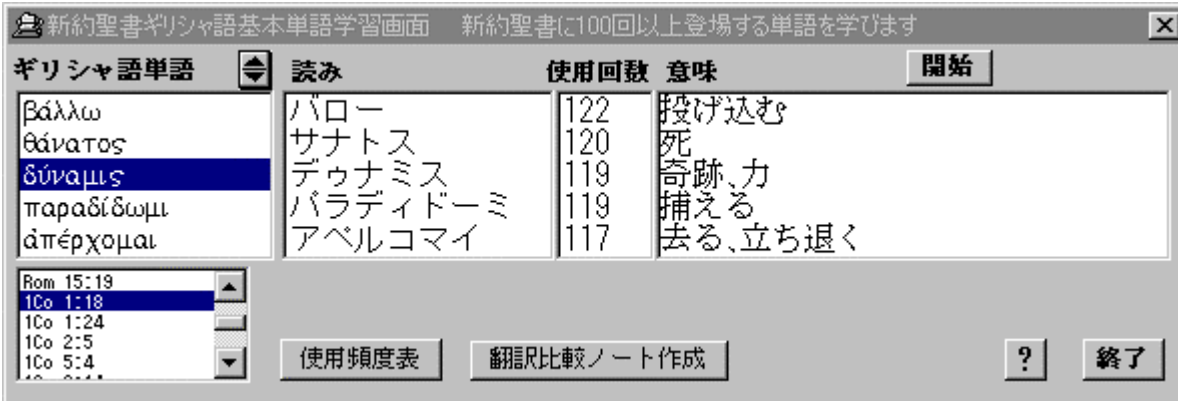
さて、新約聖書ギリシャ語本文では、アクセント記号等が付加されていますが、この発音の方法は「初級ギリシャ語の本」を購入し学んで下さい。あるいは、お近くに新約聖書ギリシャ語を学ばれた方がおられたら、その方法を聞いてみて下さい。この発音記号に、こだわりを持つ方もあれば、こだわりを持たない方もあることが分かります。



新約聖書ギリシャ語は、現在は話されていない言語になっています。それを発音することの意義は、学者の研究分野により意見が分かれるところです。

ご自分で自分の立場を確立されることを願います。

### 3.2 「単語の記憶とその意味と用法の学習」方法



さて、それでは、「コンコルダンス」「基本学習画面」を起動してみましよう。ここには、新約聖書に100回以上登場する単語が、「読み」「使用回数」「簡単な日本語の意味」と一緒に表示されます。新約聖書のギリシャ語単語の総数は、約5000単語です。ここでは、約500単語を覚えるようになっています。たった、500単語を記憶すれば、JB2を道具として原典が読めるようになっています。まずは、「基本単語学習画面」の500単語を記憶して下さい。この努力をしなければいくらJB2があっても原典を読むことはできません。

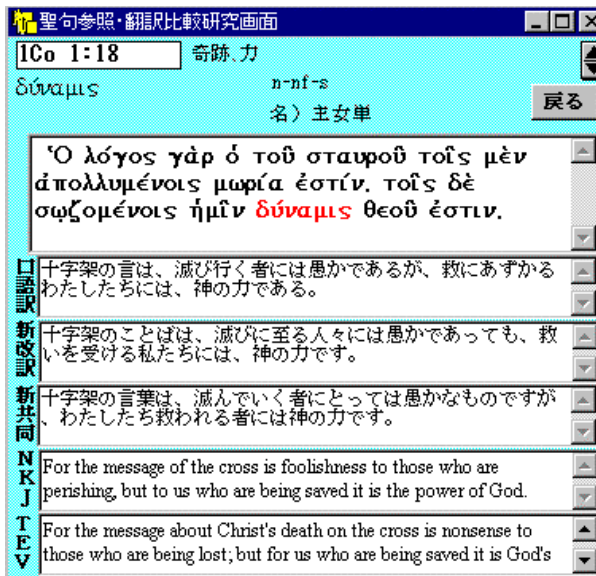
この画面は、「奇跡、力」のギリシャ語「デウナミス」をクリックしたものです。このことばが「ダイナマイト」の語源であることは良く言われています。さてこの「デウナミス」はだれが一番良く使うのでしょうか？「使用頻度表」をクリックすると次の表が表示されます。

| 書   | 回数 |
|-----|----|
| Mat | 12 |
| Mar | 10 |
| Luk | 15 |
| Joh | 0  |
| Act | 10 |
| Rom | 8  |
| 1Co | 15 |
| 2Co | 10 |
| Gal | 1  |
| Eph | 5  |
| Phi | 1  |
| Col | 2  |
| 1Th | 1  |
| 2Th | 3  |
| 1Ti | 0  |
| 2Ti | 3  |
| Tit | 0  |
| Phm | 0  |
| Heb | 6  |
| Jam | 0  |
| 1Pe | 2  |
| 2Pe | 3  |
| 1Jo | 0  |
| 2Jo | 0  |
| 3Jo | 0  |
| Jud | 0  |
| Rev | 12 |

福音書では、ルカが15回、また、使徒の働きが10回、書簡ではパウロが多く使い、また、黙示録も12回というようなことが分かります。

JB2では「コンコルダンス」「使用頻度表」によって、その単語の新約聖書全体との関わりを知ることが出来ます。

次に、「1co 1:18」をクリックすると聖句参照画面が開きます。ここでは、「口語訳」「新改訳」「新共同訳」がいずれも「力」と訳していることが分かります。では次に「翻訳比較ノート作成」をクリックしてみます。



すると以下のような画面が表示されます。ここでは、ルカ福音書にある「デウナミス」の全15箇所を指定します。そして、画面のように「解析データ」「口語訳」「新改訳」「新共同訳」にチェックをします。そして「コピー (Tab区切り)」をクリックするとデータが、クリップ・ボードに送られ、以下の様にワープロ画面に貼付けることが出来ます。(図は、Ms-Wordの例です。)



TABと言うのは、キーボードのもありますが、これは「文字列」を「表」にするためにその「区切り」マークとして良く使われる記号です(スペース、カンマ等を使用する場合もありますが、JBでは便宜上「TAB」を使うことにしています)。Ms-Wordの場合ですと、以下の手順で簡単に表が作成できます。

新約聖書ギリシャ語訳語研究ノート JB2 Ver 2.0 (制作:日本コンピュータ聖書研究会) ♪  
 \*\*\*\*\* 以下、TAB区切り表形式データになっています \*\*\*\*\* ♪  
 ♪  
 検索ギリシャ語単語 δύναμις ♪  
 ♪  

| 個所       | 解析     | 変換形     | UBS本文  | 口語訳 | 新改訳 | 新共同訳 |
|----------|--------|---------|--|-----|-----|------|
| Luk 1:17 | n-df-s | δυνάμει | καὶ αὐτὸς προελεύσεται ἐνώπιον αὐτοῦ ἐν πνεύματι καὶ δυνάμει Ἁλίου, ἐπιστρέψαι καρδίας πατέρων ἐπὶ τέκνα καὶ ἀπειθεῖς ἐν φρονήσει δικαίων, ἐτοιμάσαι κυρίῳ λαὸν κατεσκευασμένον. 彼はエリヤの霊と力とをもって、みまえに先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に義人の思いを持たせて、整えられた民を主に備えるであろう。  |     |     |      |
| Luk 1:35 | n-pf-s | δύναμις | καὶ ἀποκριθεὶς ὁ ἄγγελος εἶπεν αὐτῇ. Πνεῦμα ἅγιον ἐπελεύσεται ἐπὶ σέ καὶ δύναμις ὑψίστου ἐπισκιάσει σοί· διὸ καὶ τὸ γεννώμενον ἅγιον κληθήσεται υἱὸς θεοῦ. 御使が答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう。 御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。」 |     |     |      |

- (1) 表にする分部をドラッグし、反転させます。上の例では、「個所」から下を全て反転させます。
- (2) 「罫線」「文字列を表にする」「タブ(T)」を確認して、「OK」をクリックする。
- (3) 表が出来るので、「列の幅」をマウスを使い調整します。
- (4) 文字の大きさを変えたい場合は、「罫線」「列(行)」の選択}{列(行)が反転する}、「書式」「フォント」で文字の大きさを指定します。

(5) 不要な列、行を削除したい場合は、「罫線」「列(行)の選択」「列(行)の削除」で列(行)の削除が行われます。

(6) 失敗したらあわてずに、「編集」「元に戻す」で失敗した作業を元にもどすことができます。

以上のような手順で、表にしたのが次の表です。「罫線」「列の選択」「表の並替え」で「解析データ」をソートしてあります。また、日本語訳は、8ポイントと小さくしてあります。青で訳語が比較できるようにしてあります。ギリシャ語本文の赤は、自動的に表示されます。

この表を見ると、「力」「力あるわざ」「力あるみわざ」「奇跡」「全能」「大能」「御力」とdunami"に対して訳語が様々あることが分かります。JB2には、「ミニ辞典」が搭載されていますが、これには、全ての訳語を入力してありません。「口語訳」用ギリシャ語辞典、「新改訳」用ギリシャ語辞典、「新共同訳」のためのギリシャ語辞典が、翻訳委員会から出版されていれば良いのですが、これは存在しないのです。ま



た、これを作成するとなると数年の歳月が必要となります。JB2の「ミニ辞典」は、新改訳基準で作成しましたが、その全てを入力していません。そのかわり「辞書作成」機能を搭載し、自分の訳語を表示できるようにしてあるわけです。また、この「翻訳比較表」を作成する作業によって、訳語の範囲を「口語訳」「新改訳」「新共同訳」と広く学ぶことが出来ます。従来の新約聖書ギリシャ語学習法では、「はじめに、辞書ありき」でしたが、自分の愛読する日本語訳聖書の訳語を中心に、他の訳語も含めて、単語の意味、使用方法を学習して行くのは、コンピュータ時代になったから出来ることです。

さて、この表で青くなっていない箇所があります。Luk 21:26です。言語では、**dunamei**" twh oujranwh ですが、訳には「力」が使われていません。これを、一番新しい翻訳の「新約聖書 福音書 新約聖書翻訳委員会訳 岩波書店 1996年11月」で見えます。すると以下の様に記されています。

26節 ……実に、**天の諸力**が揺り動かされるのだ。

27節 そしてそのとき人々は、**人の子が力**と多くの栄光を伴い、**雲に囲まれて到来する**のを見るだろう。

この訳では、「諸力」と「力」充てていますが、「口語訳」「新改訳」「新共同訳」では、力を訳出せずに「天体」「天の万象」となっています。また、この岩波訳では、旧約聖書からの引用の場合に、強調文字で表示するようになっていました。27節にも「力」が登場しますが、旧約聖書の思想に、「力と多くの栄光を伴い」という思想が、ここでは加えられていることが分かります。このように、コンピュータ時代になり、これからの日本語訳聖書は、従来の表示方法に便利な機能が加わり、原典の意味により近い翻訳がされることでしょう。その例をもうひとつ以下の表から見えます。

Luk 19:37を見ると「力あるわざ」「力あるみわざ」「奇跡」と訳語に微妙な違いがあります。原語では、paswh wh eitdon **dunamewn**, となっています。ここを先ほどの岩波訳で見ると以下の様に記されています。

36節 ……彼らがみたすべての力[ある業]について、喜びのあまり、大声で神を讃め称え始め、

この翻訳の表示には [ ] が使われています。これは、敷衍(ふえん)と言いますが、本来はこの言葉は原典にはないが、この言葉を付加して訳出しました、という意味の記号です。原典では、ただ「dunami」=「力」ですが、口語訳・新改訳は「わざ」「みわざ」を敷衍して、新共同訳は、「奇跡」という言葉で訳出している分けです。

このように、新約聖書ギリシャ語を学ぶと今まで見えてこなかったものが見えてくるのです。

JB2を使い「コンコルダンス」「基本単語学習」「使用頻度表」「翻訳比較ノート作成」の過程で単語の意味、用法を調べることがいかに、知的・神学的興味を引き出すかは、やった人でなければわかりません。

さあ、あなたもチャレンジして見ましょう。パウロの書簡「コリント書」内のdunami"の(全15回)の翻訳比較ノートを作成して、訳語を青色に変えながら意味、用法の学習をしてみてください。その後で、「新約聖書ギリシャ語釈義辞典」のdunami"を読めば、ドイツの新約学学者とあなたの見解とを比較することが出来ます。また、辞典を書く学者の研究法論を学ぶことが出来ます。このように、JB2は、新約学者の見解の評価を自分ですることが出来るのです。

(荒井献【日本語版】「ギリシャ語新約聖書釈義辞典」 教文館 1993年5月)

検索ギリシャ語単語 dunami" (ルカの福音書の翻訳比較表)

| 個所        | 解析     | 変化形      | UBS本文   | 口語訳   | 新改訳  | 新共同訳  |
|-----------|--------|----------|---|---|--|---|
| Luk 8:46  | n-af-s | dunamin  | ol de; !Ihsou" eipen, Hyatov mou ti", eġw; gar eġnwn <b>dunamin</b> eġel hluqui'an ap! eġmou'.  | しかしイエスは言われた、「だれかがわたしにさわった。力がわたしから出て行ったのを感じたのだ」。                         | しかし、イエスは、「だれかが、わたしにさわったのです。わたしから力が出て行くのを感じたのだから。」と言われた。                        | しかし、イエスは、「だれかがわたしに触れた。わたしから力が出て行ったのを感じたのだ」と言われた。                    |
| Luk 9:1   | n-af-s | dunamin  | Sugkalesameno" de; tou;" dwdeka eġwken aujtoi" <b>dunamin</b> kai; eġxousian eġpi; panta ta; daimonia kai; nosou" qerapeuein  | それからイエスは十二弟子を呼び集めて、彼らにすべての悪霊を制し、病気をいやす力と権威とをお授けになった。                    | イエスは、十二人を呼び集めて、彼らに、すべての悪霊を追い出し、病気を直すための、力と権威とをお授けになった。                         | イエスは十二人を呼び集め、あらゆる悪霊に打ち勝ち、病気をいやす力と権威をお授けになった。                        |
| Luk 10:19 | n-af-s | dunamin  | ijdou; dedwka umih thn eġxousian tou' pateih epanw ofewn kai; skorpiwn, kai; eġpi; pa'san thn <b>dunamin</b> tou' eġqrou', kai; oujden uma" ouj mh; aġdikhsh/.  | わたしはあなたがたに、へびやさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けた。だから、あなたがたに害をおよぼす者はまったく無いであろう。 | 確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。   | 蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、わたしはあなたがたに授けた。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない。   |
| Luk 24:49 | n-af-s | dunamin. | kai; (ijdou) eġw; apo stellw thn eġpaggelian tou' patrol' mou eġf! uma": u mei" de; kaqisate eġ th' p olei eġw" ouj eġndush sqe eġ uyou" <b>dunamin</b> .   | 見よ、わたしの父が約束されたものを、あなたがたに贈る。だから、上から力を授けられるまでは、あなたがたは都にとどまっていなさい」。        | さあ、わたしは、わたしの父の約束してくださいましたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」  | わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」               |
| Luk 1:17  | n-df-s | dunamei  | kai; aujto;" proeleu setai eġnw pion aujto u' eġn pneumatikoi; kai; <b>dunamei</b> !H iou, eġpi streyai kardia" paterwn eġpi; tekna kai; apeiqei" eġn fronthsei dikaiwn, eltoimasai kuriw/ laon ka teskeuasmenon. | 彼はエリヤの霊と力とをもって、みまえに先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に義人の思いを持たせて、整えられた民を主に備えるであろう」。 | 彼こそ、エリヤの霊と力で主の前ぶれをし、父たちの心を子供たちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するのです。」 | 彼はエリヤの霊と力で主に先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に正しい人の分別を持たせて、準備のできた民を主のために用意する。」 |

|           |        |          |   |  |   |   |
|-----------|--------|----------|---|--|---|---|
| Luk 4:14  | n-df-s | dunamei  | Kai; upestreyen ol !Ihsou" ejn th' <b>dunav mei</b> tou pneumatou" eij' thn Galilaiān. kai; fhmh ejxh' qen k aq! ol' h" th" peric wrou peri; aujtou'.   | それからイエスは御霊の <b>力</b> に満ちあふれてガリラヤへ帰られると、そのわざがその地方全体にひろまった。                                    | イエスは御霊の <b>力</b> を帯びてガリラヤに帰られた。すると、その評判が回り一帯に、くまなく広まった。                                   | イエスは“ <b>霊</b> ”の <b>力</b> に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。                               |
| Luk 4:36  | n-df-s | dunamei  | kai; egeneto qambo " epi; panta" kai; s unelaloun pro;" ajl l h' lou" legonte", Tiv " ol' logo" outo" oft i ejn ejxousia/ kai; <b>du namei</b> epitassei to i" akaqartoi" pneu masin kai; ejercont ai_        | みんなの者は驚いて、互に語り合って言った、「これは、いったい、なんという言葉だろう。権威と <b>力</b> とをもって汚れた <b>霊</b> に命じられると、彼らは出て行くのだ」。 | 人々はみな驚いて、互いに話し合った。「今のおことはどうだ。権威と <b>力</b> とでお命じになったので、汚れた <b>霊</b> でも出て行ったのだ。」            | 人々は皆驚いて、互いに言った。「この言葉はいったい何だろう。権威と <b>力</b> とをもって汚れた <b>霊</b> に命じると、出て行くとは。」               |
| Luk 19:37 | n-gf-p | dunamewn | !Eggizonto" de; auj tou' h' dh pro;" th' ka tabasei tou' #Orou" twh !Elaiwh h' xan to apan to; pl' h' qo" twh maqhtwh cairo nte" aijneih ton qeo; n fwnh/ megal h/ per i; paswh wh eidon <b>d unamewn</b> , ; | いよいよオリブ山の下り道あたりに近づかれると、大ぜいの弟子たちはみな喜んで、彼が見たすべての <b>力あるみわざ</b> について、声高らかに神をさんびして言いはじめた、        | イエスがすでにオリブ山のふもとに近づかれたとき、弟子たちの群れはみな、自分たちの見たすべての <b>力あるみわざ</b> のことで、喜んで大声に神を賛美し始め、          | イエスがオリブ山の下り坂にさしかかれたとき、弟子の群れはこぞって、自分の見たあらゆる <b>奇跡</b> のことで喜び、声高らかに神を賛美し始めた。                |
| Luk 21:27 | n-gf-s | dunamew" | kai; toite ofyontai ton uibn tou' ajqrw pou ejrcomenon ejn n efel h/ meta; <b>duname w"</b> kai; doxh" pol' l h' "  | そのとき、大いなる <b>力</b> と栄光とをもって、人の子が雲に乗って来るのを、人々は見るのである。   | そのとき、人々は、人の子が <b>力</b> と輝かしい栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。   | そのとき、人の子が大いなる <b>力</b> と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々を見る。  |
| Luk 22:69 | n-gf-s | dunamew" | ajpo; tou' nuh de; efs tai ol' uib;" tou' ajqr wpou kaqhmeno" ek dexiwh th" <b>duname w"</b> tou' qeou'.  | しかし、人の子は今からのち、 <b>全能</b> の神の右に座するであろう」。  | しかし今から後、人の子は、神の <b>大能</b> の右の座に着きます。」   | しかし、今から後、人の子は <b>全能</b> の神の右に座る。」   |
| Luk 10:13 | n-nf-p | dunamei" | Oujai soi, Corazin, oujai soi, Bhsaidav : oft i eij ejn Turw/ ka i; Sidwhi ejgenh' qhsa n ail <b>dunamei</b> " ail ge nomenai ejn umih, pav   | わざわざいだ、コラジンよ。わざわざいだ、ベツサイダよ。おまえたちの中でなされた <b>力あるみわざ</b> が、もしツロとシドンでなされたなら、彼らはとうの昔に、荒布をまとい灰の中にす | ああコラジン。ああベツサイダ。おまえたちの間に起こった <b>力あるみわざ</b> が、もしツロとシドンでなされたのだったら、彼らはとうの昔に荒布をまとい、灰の中にすわって、悔い | 「コラジン、お前は不幸だ。ベトサイダ、お前は不幸だ。お前たちのところでなされた <b>奇跡</b> がティルスやシドンで行われていれば、これらの町はとうの昔に粗布をまとい、灰の中 |

|              |        |           |   |   |   |   |
|--------------|--------|-----------|---|---|---|---|
|              |        |           | lai ah ej sakkw/ka<br>i; spodw/kaqhmenoi<br>metenohsan.   | わって、悔い改めたであ<br>ろう。  | 改めていただろう。   | に座って悔い改めたに<br>ちがない。   |
| Luk<br>21:26 | n-nf-p | dunamei'' | apoyucontwn ajqr<br>wpwn apo; fobou ka<br>i; prosdokia'' twh ej<br>percomenwn th/oiko<br>umenh/ ail gar <b>dunav<br/>mei''</b> twh oujranwh s<br>aleuqhsontai.  | 人々は世界に起ろうと<br>する事を思い、恐怖と<br>不安で気絶するであ<br>ろう。もろもろの天体が<br>揺り動かされるからで<br>ある。   | 人々は、その住むすべ<br>での所を襲おうとして<br>いることを予想して、<br>恐ろしさのあまり気を<br>失います。天の万象が<br>揺り動かされるからで<br>す。  | 人々は、この世界に何<br>が起こるのかとおび<br>え、恐ろしさのあまり<br>気を失うだろう。天体<br>が揺り動かされるから<br>である。   |
| Luk 1:35     | n-nf-s | dunami''  | kai; apokriqei;'' ol a[<br>ggelo'' eipen aujth/<br>Pneuma agion epe<br>leusetai epi; serka<br>i; <b>dunami''</b> uyiistou<br>episkiasei soi: dio;<br>kai; to; gennwmenon<br>agion kl hqhsetai<br>uib;'' qeou'.  | 御使が答えて言った、<br>「聖霊があなたに臨<br>み、いと高き者の <b>力</b><br>があなたをおおうでし<br>ょう。それゆえに、生れ<br>出る子は聖なるもので<br>あり、神の子と、とな<br>えられるでしょう。                        | 御使いは答えて言っ<br>た。「聖霊があなた<br>の上に臨み、いと高き<br>方の <b>力</b> があなたをお<br>おいます。それゆえ、生<br>まれる者は、聖なる者、<br>神の子と呼ばれます。  | 天使は答えた。「聖<br>霊があなたに降り、いと<br>高き方の <b>力</b> があなたを<br>包む。だから、生まれ<br>る子は聖なる者、神の<br>子と呼ばれる。  |
| Luk 5:17     | n-nf-s | dunami''  | Kai; egeneto ej mi<br>a/ twh hmerwh kai;<br>aujto;'' hh didaskwn,<br>kai; hsan kaqhmeno<br>i Farisaibi kai; nom<br>odidaskaloi oi; hsa<br>n ej hluqote'' ek pav<br>sh'' kwmh'' th'' Gal<br>ilaia'' kai; !loudaia<br>'' kai; !lerousalhm:<br>kai; <b>dunami''</b> kuriou<br>hh eij' to; ija'sqai auj<br>ton. | ある日のこと、イエス<br>が教えておられると、<br>ガリラヤやユダヤの<br>方々の村から、またエル<br>サレムからきたパリ<br>サイ人や律法学者たち<br>が、そこにすわっていた。<br>主の <b>力</b> が働いて、<br>イエスは人々をいやさ<br>れた。 | ある日のこと、イエス<br>が教えておられると、<br>パリサイ人と律法の教<br>師たちも、そこにすわ<br>っていた。彼らは、ガ<br>リラヤとユダヤとのす<br>べての村々や、エルサ<br>レムから来ていた。イ<br>エスは、主の <b>御力</b> をも<br>って、病気を直してお<br>られた。 | ある日のこと、イエス<br>が教えておられると、<br>ファリサイ派の人々と<br>律法の教師たちがそこ<br>に座っていた。この<br>人々は、ガリラヤとユ<br>ダヤのすべての村、そ<br>してエルサレムから来<br>たのである。主の <b>力</b><br>が働いて、イエスは病<br>気をいやしておられた。 |
| Luk 6:19     | n-nf-s | dunami''  | kai; pa'' ol o'clo'' ej<br>zhtoun aptesqai auj<br>tou, o'fti <b>dunami''</b> p<br>ar! aujtou' ejxhrceto<br>kai; ija'to panta''.   | また群衆はイエスにさ<br>わるうと努めた。それ<br>は <b>力</b> がイエスの内から<br>出て、みんなの者を次々<br>にいやしたからであ<br>る。   | 群衆のだれもが何とか<br>してイエスにさわろう<br>としていた。 <b>大きな力</b><br>がイエスから出て、す<br>べての人をいやしたか<br>らである。   | 群衆は皆、何とかして<br>イエスに触れようとし<br>た。イエスから <b>力</b> が出<br>て、すべての人の病<br>気をいやしていたから<br>である。  |

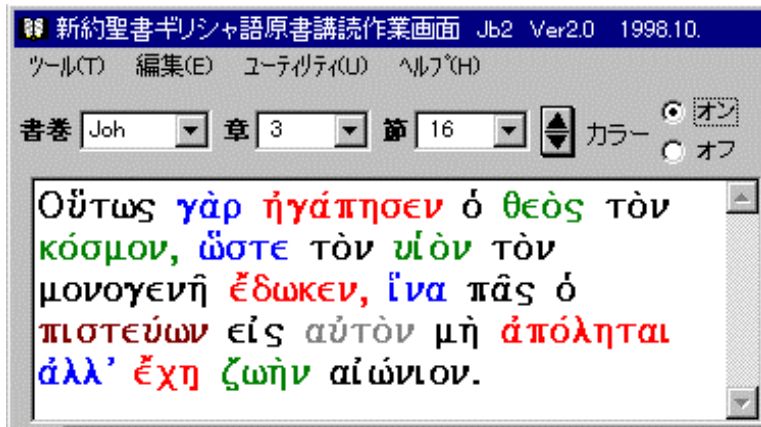
### 3.3 新約聖書ギリシャ語「原書講読」学習の方法

「原書講読」というのは、通常、ギリシャ語初級を終了した人が行うものです。われわれ日本人ならば「英文読解」を経験していますが、それと同じです。辞書、文法書を傍らに、原語を読む修行の旅が始まる分けです。でも多くの方が、辞書・文法書を開くのが億劫、あるいは、時間がかかり過ぎる、という誘惑に負け修行の旅をあきらめ、何の為に原語を学んだのか、あの費やした時間はなんだったのかと、原語嫌悪症になってしまうのではないのでしょうか？

JB2には、「文法解析データ」「ミニ辞典」が搭載されています。マウス一つで「文法データ」「ミニ辞書」が簡単に開きます。また、ギリシャ語本文を構成する単語を以下のように、カラー表示できるようになっています。

名詞（緑）動詞（赤）分詞（茶）前置詞（青）代名詞（灰）

以下は、「原書講読画面」で有名なヨハネ3章16節を開いたところです。



ギリシャ語は、動詞活用が英語よりも複雑です。この動詞活用をどれだけ理解できるかが、単語の記憶以上に新約聖書原典を「読む」のに重要なポイントになります。ですから、これから新約聖書ギリシャ語文法を学ぼうと方は、主要単語の記憶と同時に、文法の動詞活用を特に綿密に学ばれることをおすすめします。

以下は、JB2のデータで調べた「動詞用法の使用頻度」です。

新約聖書全体で、動詞は、28109回登場し

ます。

一般用法は・・・19162回

分詞用法・・・6657回

不定詞用法・・・2290回

これを見ると、分詞が全体の約1/4であることが分かります。新約聖書ギリシャ語を読むためには「英語で習った分詞構文」をよく復習しておく必要があります。新約聖書ギリシャ語は、インド・ヨーロッパ語族に属しますので、その文法が、英語、ドイツ語、フランス語・・・によく似ています。英語の「現在完了」「過去完了」・・・等、動詞活用をよく理解していることが基本です。

さて、次は新約聖書ギリシャ語の時制の頻度を見てみましょう。現在形・・・6861回 [36%]

過去形・・・9757回 [51%]

不定過去形・・・(8119回)

未完了過去形・・・(1638回)

完了形・・・936回 [5%]

大完了形(86回)\*これに関しては、本会のHP「聖書研究室」に筆者の小論を公開しています。

未来形・・・1608回 [ 8 %]

これを見ると、過去形が半分以上占めていることが分かります。つまり、動詞の2回に1回は、過去形でそのほとんどが「不定過去形」であるということです。動詞活用を記憶する場合まずは、「不定過去形」活用をしっかりとしておくことが大切だということが分かります。


ここで、ヨハネ3章16節に戻ります。最初の動詞はどのような意味でしょうか？以下のようにマウスを使いドラッグして、マウスボタンの右を押すと「ミニ辞典」が開きます。



「愛する」であることが分かります。次々と「ミニ辞典」を開いてみると、「愛する」「与える」「信じる」「持つ」「滅ぼす」・・・と、この動詞のを最初に調べるだけで、何となくヨハネ3章16節の単語構成が分かるのです。



このように、JB2の「原書講読画面」では、辞書・文法書を開く手間が省け、楽しく新約聖書原典を読みながら、「口語訳」「新改訳」「新共同訳」の助けをかりていままでにない効率の良い新約聖書ギリシャ語学習ができるのです。

さらに、 をクリックすれば、以下のようなデータがワープロ文書にコピーされますので、自分の研究ノートが作成できます。

JB2 Ver 2.0 (日本コンピュータ聖書研究会)

Joh 3章 16節

[口語訳] 神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

[新改訳] 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

[新共同訳] 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

[NKJV] "For God so loved the world that He gave His only begotten Son, that whoever believes in Him should not perish but have everlasting life.


[TEV] For God loved the world so much that he gave his only Son, so that everyone who believes in him may not die but have eternal life.

Ou{w" gar hgaphsen ol qeo;" ton kosmon, w{ste ton uibn ton monogenh' e{twk en, i{ha pa" ol pisteuwn eij' aujton mh; apol{htai ajll! e{ch/ zwhn aijwnion.

\*\*\*\*\* JB2文法解析データ(タブ区切り) \*\*\*\*\*

|    |           |           |           |   |
|----|-----------|-----------|-----------|---|
| 1  | Ouŧw''    | ouŧw      | ab        | 次のように、このように、それ程に                          |
| 2  | gar       | gar       | cs        | なぜなら、というのは、すなわち、だから                       |
| 3  | hgaphsen  | ajgapaw   | viala--3s | 愛する                                       |
| 4  | ol        | ol        | dnms      | 冠詞(この、その)                                 |
| 5  | qeo''     | qeo'      | n-nm-s    | 神   |
| 6  | ton       | ol        | dams      | 冠詞(この、その)                                 |
| 7  | kosmon,   | kosmo''   | n-am-s    | 世   |
| 8  | wŧte      | wŧte      | ch        | それゆえ、それで、~するため                            |
| 9  | ton       | ol        | dams      | 冠詞(この、その)                                 |
| 10 | uibn      | uib'      | n-am-s    | 息子、子、子孫                                   |
| 11 | ton       | ol        | dams      | 冠詞(この、その)                                 |
| 12 | monogenh' | monogenh' | a--am-s   | 唯一の、独りの、独り(子・息子・娘)                        |
| 13 | eŧwken,   | didwmi    | viala--3s | 与える、~させる                                  |
| 14 | iŧa       | iŧa       | cs        | ために、する事を、~ので、という事は                        |
| 15 | pa''      | pa''      | a--nm-s   | 全部で、すべての、どんな~でも、あらゆる、あ<br>らんかぎりの、1つも欠けが無い |
| 16 | ol        | ol        | dnms+     | 冠詞(この、その)                                 |
| 17 | pisteuwn  | pisteuw   | vppanm-s  | 信じる                                       |
| 18 | eij''     | eij''     | pa        | ~へ、まで、のために、に対して                           |
| 19 | aujton    | aujto'    | npam3s    | 彼・それ(三人称の代名詞)、自身(強調用法)、<br>同じ、まさに         |
| 20 | mh;       | mhv       | qn        | ~ない                                       |
| 21 | apolhtai  | apolhumi  | vsam--3s  | 滅ぼす、殺す                                    |
| 22 | ajll!     | ajllav    | ch        | けれども、しかし、かえって、むしろ、以外に                     |
| 23 | eŧh/      | eŧw       | vspa--3s  | 持つ、保つ、できる、~である                            |
| 24 | zwhn      | zwhv      | n-af-s    | いのち、生存、(永遠の・神の)いのち                        |
| 25 | aijwnion. | aijwnio'' | a--an-s   | 永遠の                                       |



また、  をクリックすると以下のようなInterlinear文書を簡単に作成することができます。

|                  |                                     |                              |                   |                  |                       |                                      |                    |
|------------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|--------------------|
| <b>Outw''</b>    | <b>gar</b>                          | <b>hgaphsen</b>              | <b>ol</b>         | <b>qeo''</b>     | <b>ton</b>            | <b>kosmon,</b>                       | <b>wšte</b>        |
| 副                | 接)従                                 | 動)直ア才能3単                     | 冠)主男              | 名)主男単            | 冠)対男                  | 名)対男単                                | 接)完等               |
| ab               | cs                                  | vial--3s                     | dnms              | n-nm-s           | dams                  | n-am-s                               | ch                 |
| <b>outw</b>      | <b>gar</b>                          | <b>agapaw</b>                | <b>ol</b>         | <b>qeo'</b>      | <b>ol</b>             | <b>kosmo''</b>                       | <b>wšte</b>        |
| 次のように、このように、それ程に | なぜなら、<br>というの<br>は、すな<br>わち、だ<br>から | 愛する                          | 冠詞(この、その)         | 神                | 冠詞(この、その)             | 世                                    | それゆえ、それで、~するため     |
| <b>ton</b>       | <b>uibn</b>                         | <b>ton</b>                   | <b>monogenh'</b>  | <b>eþwken,</b>   | <b>iþa</b>            | <b>pa''</b>                          | <b>ol</b>          |
| 冠)対男             | 名)対男                                | 冠)対男                         | 形)対男              | 動)直ア才能3単         | 接)従                   | 形)主                                  | 冠)主男               |
| dams             | n-am-s                              | dams                         | a--am-s           | vial--3s         | cs                    | a--nm-s                              | dnms+              |
| <b>ol</b>        | <b>uib'</b>                         | <b>ol</b>                    | <b>monogenhv</b>  | <b>didwmi</b>    | <b>iþa</b>            | <b>pa''</b>                          | <b>ol</b>          |
| 冠詞(この、その)        | 息子、子、子孫                             | 冠詞(この、その)                    | 唯一の、独自の、独(子・息子・娘) | 与える、~させる         | ために、する事を、~ので、という事は    | 全部で、すべての、どんな~でも、あらゆる、あらんかぎりの1つも欠けが無い | 冠詞(この、その)          |
| <b>pisteuwn</b>  | <b>eij'</b>                         | <b>aujton</b>                | <b>mh;</b>        | <b>apolhtai</b>  | <b>ajl !!</b>         | <b>eþh/</b>                          | <b>zwhn</b>        |
| 分)現能主男単          | 前)対                                 | 代)対男3                        | 不変)否定             | 動)仮ア才中3単         | 接)完                   | 動)仮現能3単                              | 名)対女単              |
| vppanm-s         | pa                                  | npam3s                       | qn                | vsam--3s         | ch                    | vspe--3s                             | n-af-s             |
| <b>pisteuw</b>   | <b>eij'</b>                         | <b>aujto'</b>                | <b>mhv</b>        | <b>apol lumi</b> | <b>ajl l av</b>       | <b>eþw</b>                           | <b>zwhv</b>        |
| 信じる              | ~へ、まで、のために、に対して                     | 彼・それ(人称の代名詞)、自身(強調用法)、同じ、まさに | ~ない               | 滅ぼす、殺す           | けれども、しかし、かえって、むしろ、以外に | 持つ、保つ、できる、~である                       | いのち、生存、(永遠の・神の)いのち |

### **aijwnion.**

形)対中単

a--an-s

### **aijwnio''**

永遠の

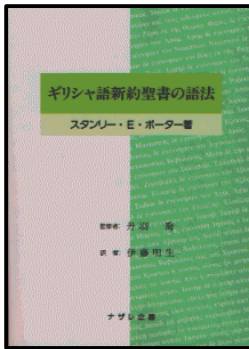
新約聖書ギリシャ語を教える教師は、このInterlinearで勉強することを学生にあまり薦めません。ましてや、Interlinearだけを使って説教をした学生は、お叱りをうけるのが常識となっています。それは、何故か？ Interlinearには、ギリシャ語の訳がひとつかふたつ記されているにすぎません。それは、Interlinearの著者が、自分の見解を記入しているのにすぎないからです。「口語訳」「新改訳」「新共同訳」で訳語が違う時には、JB2を使いどの訳語が一番良いのかを自分で確かめるのですから、Interlinearを最高の訳語選択と信じ込む人は、自分から原典を読むことの初心者であることを吹聴していることになるのです。

1996年6月にJB2 Ver1.0をリリースして以来もっとも多い要望が、「Interlinear機能をJB2に追加してほしい」でした。日本語で読める新約聖書ギリシャ語文法書は、初級しかない日本のキリスト教会の現状ではこれもまたいたしかたないことかと、新約聖書ギリシャ語をこれから学ぼうとされる方、また、初心者の方々の為に、要望にお答えして今回この機能を追加致しました。

JB2のユーザーの皆様が「原語コンコルダンス」と「日本語訳翻訳比較機能」によって、効率よく、正しく原典を読まれることを願う次第です。

今年になり、日本語で読める優れた本が2冊翻訳されました。最後に紹介させていただきます。

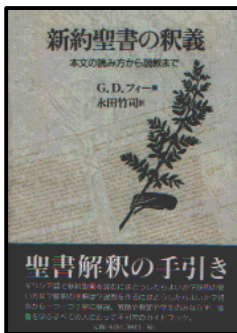
まずは、新約聖書ギリシャ語の中級から上級へのステップ・アップの本です。



スタンリー・E・ポーター【著】伊藤明生【訳】

「ギリシャ語新約聖書の語法」ナザレ企画

1998年5月24日初版 ¥2000 (税別)



次は、JB2のプログラミングの設計図である本が、翻訳されました。これをお読み頂くと、JB2がどこを目指しているかが分かります。JB2ユーザーにはぜひ読んで頂きたい一冊です。

G.D.フィー【著】永田竹司【訳】

「新約聖書の釈義 本文の読み方から説教まで」

教文館 1998年6月1日初版 ¥3500 (税別)

#### 4. 著作権について

- Jb 2は、Jb1のアドインソフトです。「口語訳」「新改訳」「新共同訳」「NKJV」「TEV」についての著作権等は、Jb1の「ヘルプ」をご覧ください。
- 新約ギリシャ語本文（UBS第4版、NA27版）の著作権は、ドイツ聖書協会が所有しています。本製品は、（財）日本聖書協会を通じ、ドイツ聖書協会より使用許可を頂いています。
- 聖書本文の引用に関しては、（財）日本聖書協会のHP(<http://www.bible.or.jp/>)をご覧ください。インターネット時代で「知的所有権（財産権）」の法制化が遅れていますが、「神のことば」聖書の著作権を自主的に守り聖書・神学研究が進展することを願うものです。
- 本製品のプログラム、および、データベース・ファイルの著作権は、日本コンピュータ聖書研究会が所有しています。